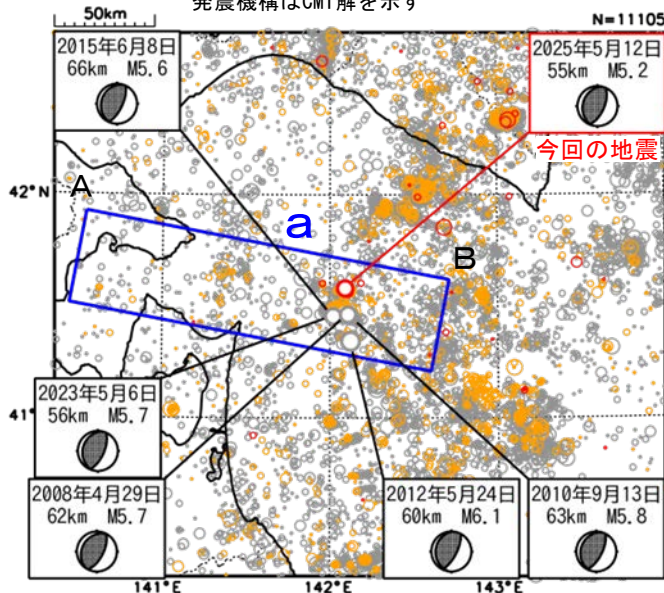
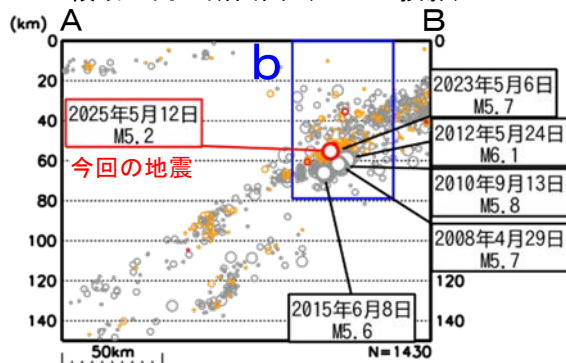


5月12日 青森県東方沖の地震

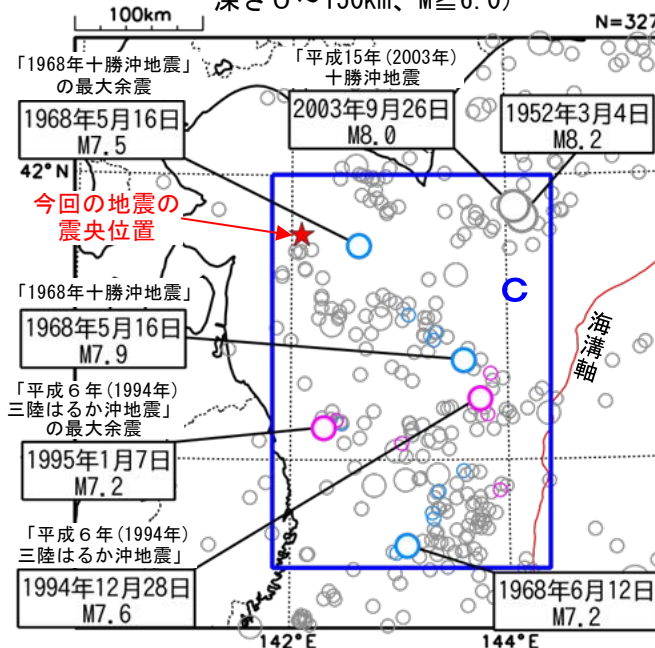
震央分布図

(1997年10月1日～2025年5月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.5$)○1997年10月1日～2020年8月31日
●2020年9月1日～2025年4月30日 ○2025年5月1日以降
発震機構はCMT解を示す

領域a内の断面図（A-B投影）



震央分布図

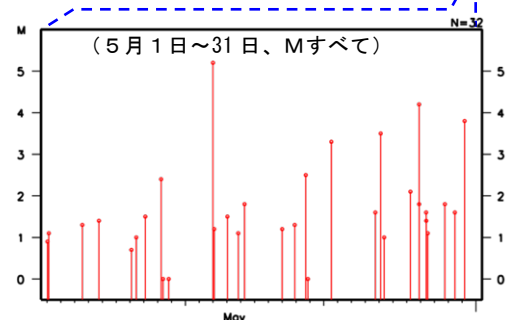
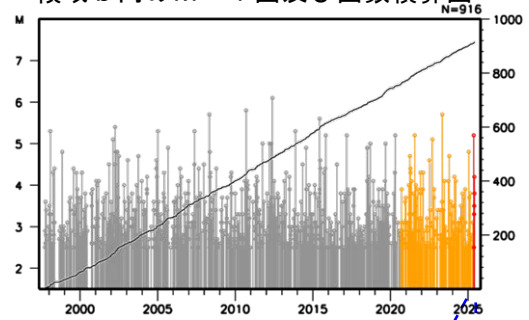
(1919年1月1日～2025年5月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)

情報発表に用いた震央地名は「浦河沖」である

2025年5月12日23時54分に青森県東方沖の深さ55kmでM5.2の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震の発生以降、震源付近（領域b）では、5月12日から31日までに震度1以上を観測する地震が4回（震度2：2回、震度1：2回）発生した。

1997年10月以降の活動をみると、2012年5月24日にM6.1の地震（最大震度5強）など、M5を超える地震が度々発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M7を超える地震が度々発生している。「1968年十勝沖地震」（M7.9、最大震度5）では死者52人、負傷者330人等の被害が生じたほか、八戸〔火力発電所〕で295cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測した。また、「平成6年（1994年）三陸はるか沖地震」（M7.6、最大震度6）では、死者3人、負傷者688人等の被害が生じたほか、八戸と宮古で50cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測した（「験震時報第63巻」による）（被害は「日本被害地震総覧」による）。

- ：1968年5月16日～1968年7月31日
- ：1994年12月28日～1995年2月28日
- ：上記以外の期間

領域c内のM-T図

